

仕 様 書

工 事 番 号	耐震性貯水槽新設工事(本郷町船木)	
設 計 年 度	令 和 3 年 度	三原市本郷町船木
施 工 方 法	請 負	
工 事 期 間		
工 事 概 要		
耐震性貯水槽(40m ³) 1基 標識工 1基		
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">仕 様 書</div>		

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、耐震性貯水槽新設工事(本郷町船木)に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書(令和2年8月)広島県※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
 - ・耐震性貯水槽の設計手引き及び管理マニュアル((一財)日本消防設備安全センター)
 - ・道路標識設置基準
 - ・道路標識設置基準・同解説((社)日本道路協会)
 - ・その他関連規格類

第2節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」(以下「ガイドライン」という。)に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第3節 水張り検査

- 1 水張り検査を行うこと。
- 2 なお、異常を確認した場合は、受注者は原因を確認し、調査計画書を監督員に提出し補修すること。

第2章 材料

第1節 耐震性貯水槽

- 1 設置する貯水槽は、(一財)日本消防設備安全センターが認定する製品を使用すること。
- 2 本工事において、事前に使用する耐震性貯水槽の構造計算書を監督員に提出し承諾を得ること。
- 3 本工事完了後、設置した耐震性貯水槽に対する認定証((一財)日本消防設備安全センター)の原本を速やかに監督員に提出すること。

第3章 施工条件

第1節 工程

- 1 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査
調査項目 地下埋設物
調査時期 工事施工前に調査を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする）

第2節 用地

- 1 現場の復旧
原形復旧とする。

第3節 公害対策

- 1 事前・事後調査
調査区分 事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。（設計変更の対象とする。）
調査時期 施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）
調査内容 柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況
範囲 監督員と協議するものとする

第4節 安全対策

- 1 安全対策
内容 工事区域、特に掘削時の開口部に第三者が立ち入ることがないように、十分に安全措置を講ずること。

第5節 盛土

- 1 流用土(工事内流用)
本工事の施工により発生する土のうち、130m³(地山土量)については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。
- 2 購入土(搬入) (建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土)
- (1) 当該工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土(改良土を含む。)を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費(工場渡し)の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用(単価)は変更しない。
- (2) (1)により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について監督員と協議すること。
- (3) 使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果(計量証明書)を提出するものとする。

第6節 建設副産物

- 1 建設発生土(搬出)(建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議するものとする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第7節 その他

1 工事中機資材の仮置き場所

受注者が責任をもって確保すること。
なお、借地料等については、受注者の負担とする。

2 施工時期

本工事は、製品製作期間、施工箇所周辺の工作時期を考慮し、約2ヶ月間の余裕期間を含んでいる。

第4章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和2年8月 広島県）『1-1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第5章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
耐震性貯水槽		式	1	レベル1
耐震性貯水槽		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
床掘り		式	1	レベル4
埋戻し		式	1	レベル4
基面整正		式	1	レベル4
残土処理工		式	1	レベル3
基礎工		式	1	レベル3
基礎砕石工		式	1	レベル4
基礎コンクリート工		式	1	レベル4
耐震性貯水槽設置工		式	1	レベル3
耐震性貯水槽設置工		基	1	レベル4
耐震性貯水槽（躯体）	空地用 40m3級 ビット1箇所	基	1	レベル4
小型標識工		式	1	レベル3
標識柱	単柱式 下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装(白色) 柱径 60.5 [規]2基以下	基	1	レベル4
標識板		枚	1	レベル4
付帯工		式	1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
舗装版切断	【アスファルト舗装版】	式	1	レベル4
舗装版破碎	【アスファルト舗装版】	式	1	レベル4
殻運搬	【アスファルト殻】	式	1	レベル4
殻処分	【アスファルト殻】	式	1	レベル4
表層(車道・路肩部)		式	1	レベル4
フェンス撤去復旧		式	1	レベル4
縁石撤去復旧		式	1	レベル4
直接工事費				
技術管理費				
技術管理費		式	1	レベル2
技術管理費		式	1	レベル3
土質試験費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
共通仮設費計				
純工事費				
現場管理費				
工事原価				
一般管理費率分				

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
契約保証費					
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額					
工事費計					
契約保証費計					

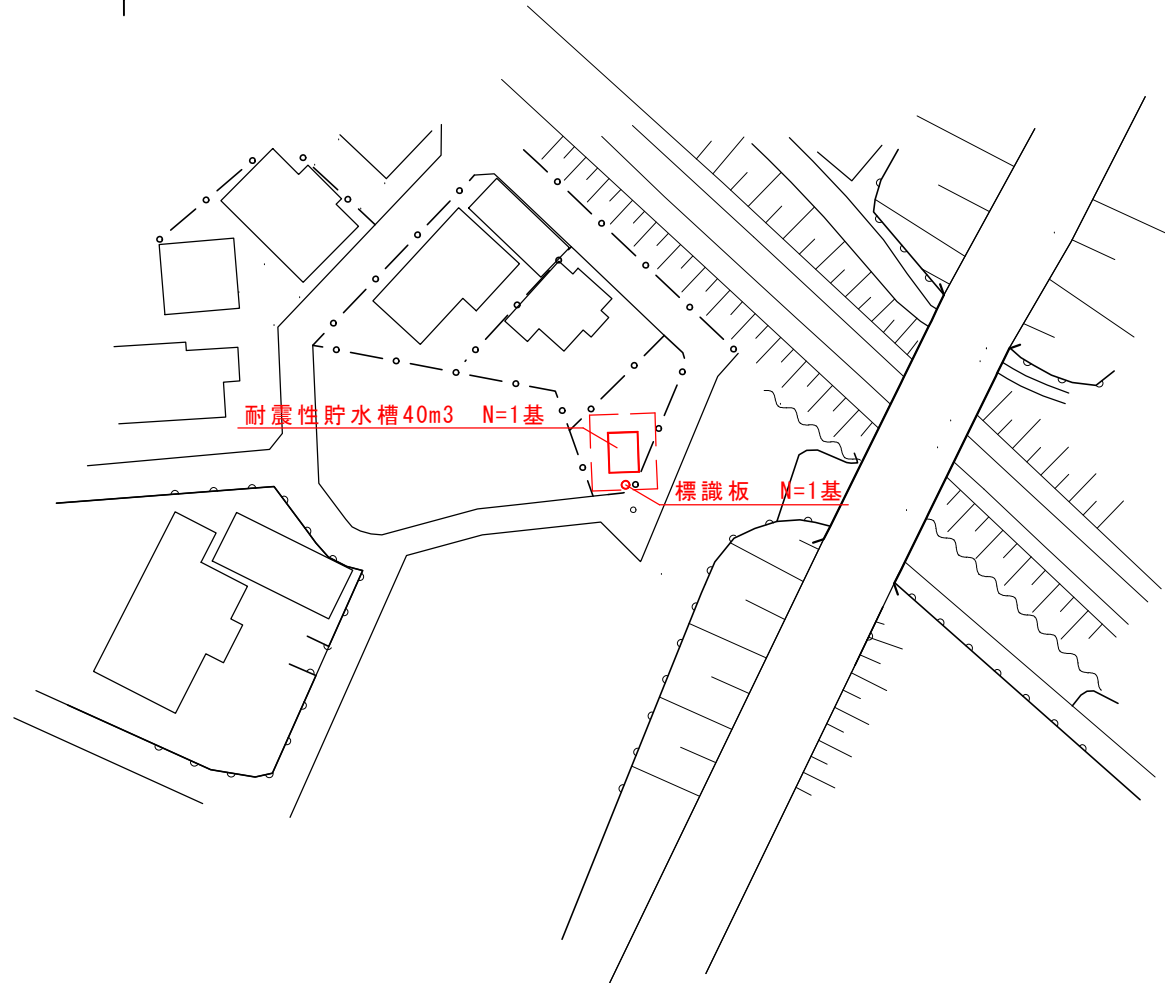
図面番号	1/1	縮尺	図示
工種			
種別	平面図・標識板構造図	番号	
工事名	耐震性貯水槽新設工事(本郷町船木)		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

この図面は、実際の図面を約50%に縮尺している。



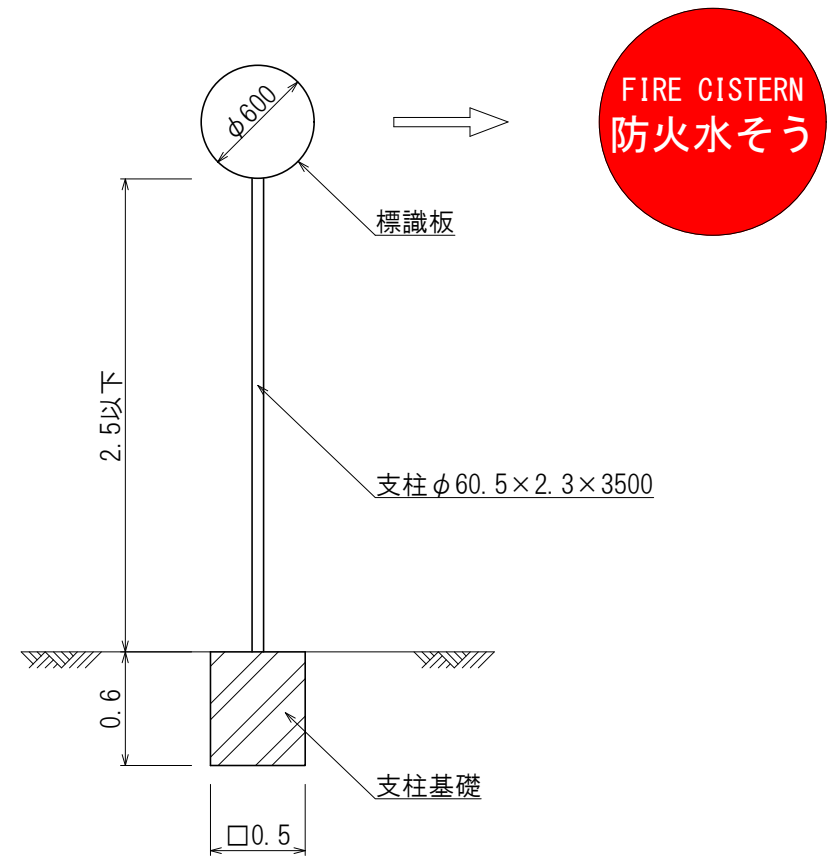
平面図

S=1:500



構造図

S=1:20



耐震性貯水槽仕様

[貯水槽形式]	耐震性貯水槽 40m3 (一財)日本消防設備センター認定品
[吸管投入口形式]	φ600
[標識板形式]	φ600 アルミ板
[標識柱形式]	φ60.5×2.3×3500
[土被り]	0.1m

参 考 資 料

—耐震性貯水槽新設工事(本郷町船木)—

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 65 三原市(本郷) 00-03.06.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 04 道路改良工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
耐震性貯水槽	1	式			Y1999 レベル1
耐震性貯水槽	1	式			Y2999 レベル2
作業土工	1	式			Y3999 レベル3
床掘り	1	式			Y4999 レベル4
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し	200	m3			SPK20040015 00 単第0 -0001 表
埋戻し	1	式			Y4999 レベル4
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	130	m3			SPK20040019 00 単第0 -0002 表
基面整正	1	式			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基面整正					SPK20040017 00
	23	m2			単第0 -0003 表
残土処理工					Y1E010110 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 【土砂】					Y1E01011002レベル4
	1	式			
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)					SPK20040002 00
	50	m3			単第0 -0004 表
残土等処分					Y1E01011003レベル4
	1	式			
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
投棄料					F9001 00
	50	m3			
基礎工					Y3999 レベル3
	1	式			
基礎碎石工					Y4999 レベル4
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基礎碎石 碎石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	25	m2			SPK20040039 00 単第0 -0005 表
基礎コンクリート工	1	式			Y4999 レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	3	m3			SPK20040148 00 単第0 -0006 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	9	m2			SPK20040150 00 単第0 -0007 表
モルタル練 高炉 混合比1:3	0.4	m3			SPK20040149 00 単第0 -0008 表
耐震性貯水槽設置工	1	式			Y3999 レベル3
耐震性貯水槽設置工	1	基			Y4999 レベル4
本体据付工	1	式			V0001 00 単第0 -0009 表
本体縦締工	1	式			V0002 00 単第0 -0010 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
グラウト工	1	式			V0003 00 単第0 -0011 表
防水工	1	式			V0004 00 単第0 -0012 表
耐震性貯水槽（躯体） 空地用 40m3級 ピット1箇所	1	基			Y4999 レベル4
耐震性貯水槽（躯体） 空地用 40m3級 ピット1箇所	1	式			V0005 00 単第0 -0013 表
小型標識工	1	式			Y3999 レベル3
標識柱 単柱式 下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装(白色) 柱径 60.5 [規]2基以下	1	基			Y4999 レベル4
標識柱・基礎設置(路側式)[単柱式・複柱式] 単柱式 下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装(白色) 柱径 60.5 [規]2基以下	1	基			SS000067 00 単第0 -0014 表
標識板	1	枚			Y4999 レベル4
標識板設置 警戒・規制・指示・路線番号標識 [規]2基以下	1	基			SS000223 00 単第0 -0015 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
標識板 600 取付金具含む	1	枚			F0000000001 00
付帯工	1	式			Y1E011105 レベル3
舗装版切断 【アスファルト舗装版】	1	式			Y1E01110502 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	11	m			SPK20040308 00 単第0 -0016 表
舗装版破碎 【アスファルト舗装版】	1	式			Y1E01110503 レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下	14	m2			SPK20040307 00 単第0 -0017 表
殻運搬 【アスファルト殻】	1	式			Y1E01111501 レベル4
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要, 舗装版 DID区間無し 運搬距離6.5km以下(3.5km超))	1	m3			SPK20040146 00 単第0 -0018 表
殻処分 【アスファルト殻】	1	式			Y1E01111502 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】	数量	単位	単価	金額	備考
					#0041
アスファルト殻受入費					F9002 00
	1.6	t			
表層(車道・路肩部)					Y1E02030409レベル4
	1	式			
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚50mm					SPK20040241 00
	14	m2			単第0 -0019 表
フェンス撤去復旧					Y1E02030409レベル4
	1	式			
横断・転落防止柵 防護柵撤去 プレキャストコンクリートブロック建込 ビーム式・パネル式					SS000153 00
	12	m			単第0 -0020 表
金網・支柱(立入防止柵) 基礎ブロック 支柱間隔2m					SPK20040252 00
	12	m			単第0 -0021 表
縁石撤去復旧					Y1E02030409レベル4
	1	式			
地先境界ブロック撤去 再利用					SPK20040290 00
	12	m			単第0 -0022 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
地先境界ブロック A種(120×120×600) 再利用設置 基礎碎石無し	12	m			SPK20040288 00 単第0 -0023 表
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
土質試験費	1	式			YZZ06001001 レベル4
簡易支持力測定	1	式			F1000000021 00
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
工事費計					
契約保証費計					

施工単価表

床掘り

SPK20040015

単第0 -0001 表

土砂 標準

無し 障害無し

1

m3 当り

機械構成比: 43.71% 労務構成比:

37.99%

材料構成比: 18.30%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

285.04000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3	43.71%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00014 MTPT00014
運転手(特殊)	37.99%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	18.30%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 無し E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=1 障害無し		

施工単価表

頁0 -0012

埋戻し

SPK20040019

単第0 -0002 表

最大埋戻幅1m以上4m未満

1

m3 当り

機械構成比: 12.68% 労務構成比:

82.43%

材料構成比:

4.89%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,770.20000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3	10.86%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00014 MTPT00014
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8~1.1t	1.71%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8~1.1t		KTPC00008 KTPT00008
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	0.11%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	51.28%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	22.55%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	8.60%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.78%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.11%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

土砂等運搬

SPK20040002

単第0 -0004 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 47.71% 労務構成比:

37.09% 材料構成比: 15.20%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

955.93000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	47.71%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	37.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.20%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=13 距離5.5km以下(4.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

基礎砕石

SPK20040039

単第0 -0005 表

砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.46% 労務構成比:

66.62%

材料構成比: 27.92%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,232.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	5.43%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	32.06%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	13.93%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	12.45%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	7.72%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	23.36%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.53%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0018

コンクリート

SPK20040148

単第0 -0006 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.61%

労務構成比:

37.84%

材料構成比:

57.55%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

27,792.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.35%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.31%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.70%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	6.93%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	6.63%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.50%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.94%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

型枠

SPK20040150

単第0 -0007 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,496.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	47.51%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	24.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.97%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

モルタル練
高炉

SPK20040149

単第0 -0008 表

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 62.04%

混合比1:3

材料構成比: 37.96%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価:

m3 当り
37,421.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	62.04%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋	24.92%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	13.04%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉 C=1 -(全ての費用)			B=3 混合比1:3		

施工単価表

耐震性貯水槽（躯体）
空地用 40m3級 ビット1箇所

V0005

単第0 -0013 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
中間部材A 3900*2800*1500	2	個			
中間部材B 3900*2800*1500	1	個			
端面部材A 3900*2800*400	1	個			
端面部材B 3900*2800*400	1	個			
集水ビット 1070*1070*505	1	個			
鉄蓋 受枠共（転落防止付） 600 T-25	1	組			
梯子 L=2300 FRP	1	本			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

舗装版切断

SPK20040308

単第0 -0016 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 6.29%

労務構成比:

54.24%

材料構成比: 39.47%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

558.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	4.25%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	18.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.56%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	36.63%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.92%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版破碎

SPK20040307

単第0 -0017 表

アスファルト舗装版

障害無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 9.77%

労務構成比:

81.96%

材料構成比:

8.27%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

166.23000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	9.77%		バックホウ [クローラ型・排ガス対策型(第2次)] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00004 KTPT00004
土木一般世話役	29.03%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	28.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.87%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.27%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 F=1	アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 積込作業有り		B=1 D=1 G=1	障害無し 舗装版厚15cm以下 -(全ての費用)	

施工単価表

殻運搬

SPK20040146

単第0 -0018 表

舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要,舗装版

DID区間無し 運搬距離6.5km以下(3.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 47.71% 労務構成比: 37.09%

材料構成比: 15.20%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,623.50000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	47.71%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	37.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.20%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=23 運搬距離6.5km以下(3.5km超)		

施工単価表

表層(車道・路肩部)
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK20040241

単第0 -0019 表

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.81% 労務構成比:

13.91%

材料構成比: 84.28%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,634.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅1.4~3.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.21%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4~3.0m		KTPC00059 KTPT00059
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.25%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>タイヤローラ 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.22%		タイヤローラ 質量3~4t		KTPC00057 KTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.96%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	3.41%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	3.36%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	1.15%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK20040241

単第0 -0019 表

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.81% 労務構成比: 13.91%

材料構成比: 84.28%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,634.80000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	76.98%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.05%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.24%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上3.0m以下 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

金網・支柱(立入防止柵)

SPK20040252

単第0 -0021 表

基礎ブロック

支柱間隔2m

1

m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

100.00%

材料構成比:

0.00%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,885.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	90.68%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 D=2 基礎ブロック 機械費・労務費のみ(1日未満完了作業)			C=2 支柱間隔2m		

施工単価表

地先境界ブロック撤去
再利用

SPK20040290

単第0 -0022 表

機械構成比: 4.77% 労務構成比: 93.57% 材料構成比: 1.66% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,219.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.22m3(平積0.16) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.77%		小型バックホウ [クローラ型・超小旋回型] 山積0.22m3		KTPC00002 KTPT00002
普通作業員	30.12%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	17.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	17.26%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	16.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.66%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 再利用					

施工単価表

地先境界ブロック

SPK20040288

単第0 -0023 表

A種(120×120×600)

再利用設置 基礎碎石無し

1

m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

100.00%

材料構成比:

0.00%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,533.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	45.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	26.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	25.82%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		E9999
A=2 E=2 再利用設置 基礎碎石無し			B=1 F=4 A種(120×120×600) 生コンクリート無し		

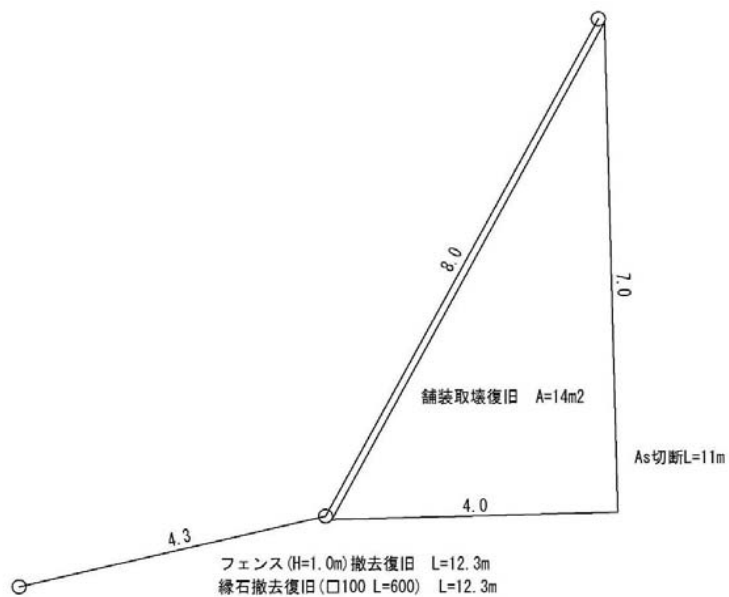
土工数量計算書(2)

種 別	計 算 式	単 位	数 量
【埋戻工】			
埋戻工B <埋戻控除分>			
(躯体1)	$V_1 = 3.90 \times 5.30 \times 2.80$	m ³	57.88
(投入孔)	$V_3 = \pi / 4 \times 0.83^2 \times 0.10$	m ³	0.05
(ピット)	$V_4 = 1.55 \times 1.45 \times 0.52$	m ³	1.17
(基礎碎石)	$V_5 = 5.80 \times 4.30 \times 0.20$	m ³	4.99
(基礎Co)	$V_6 = 5.60 \times 4.10 \times 0.15$	m ³	3.44
(モルタル)	$V_7 = 5.30 \times 3.90 \times 0.02$	m ³	0.41
	控除計	m ³	67.94
埋戻工B	196.38 - 67.94	m ³	128.44

基礎工数量計算書(3)

種 別	計 算 式	単 位	数 量
【基礎砕石】			
RC-40 (t=0.20m)	$A = 4.30 \times 5.80$	m ²	24.94
【基礎コンクリート】			
コンクリート工 (無筋) (t=0.15m)	$V = 4.10 \times 5.60 \times 0.15$	m ³	3.44
【モルタル工】			
モルタル工	$A = 3.90 \times 5.30$	m ²	20.67
1:3	$V = 20.67 \times 0.02$	m ³	0.41
【基礎型枠】			
型枠工	$A = \begin{matrix} 4.10+5.60 \\ 9.70 \end{matrix} \times 0.15 \times 2$		
	$+ \begin{matrix} 1.55+1.15 \\ 2.70 \end{matrix} \times 0.52 \times 4$	m ²	8.53

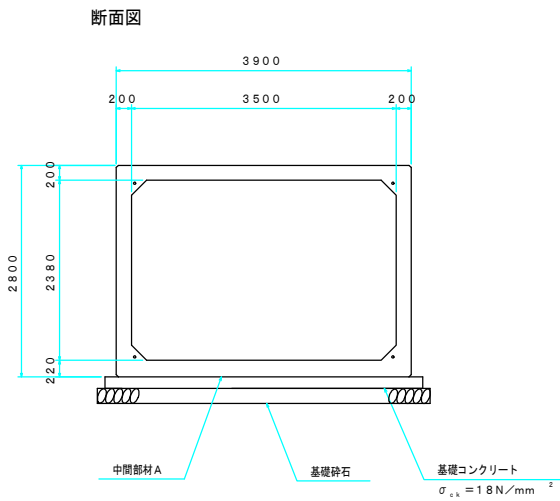
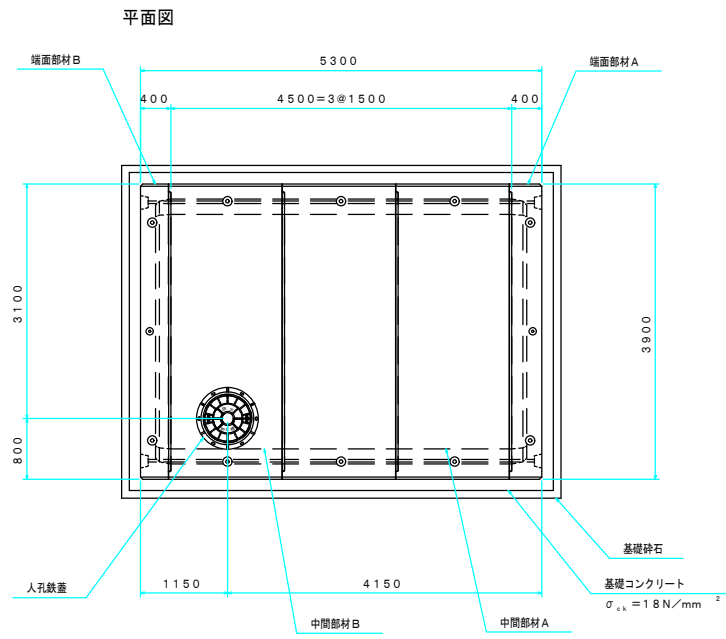
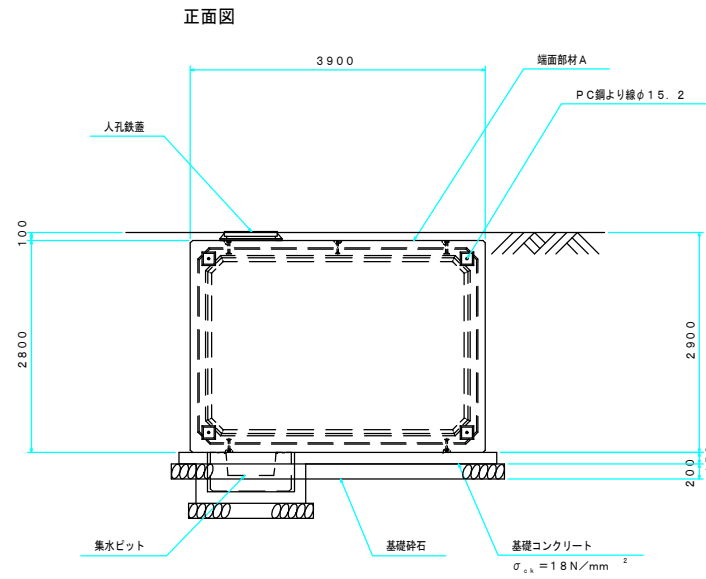
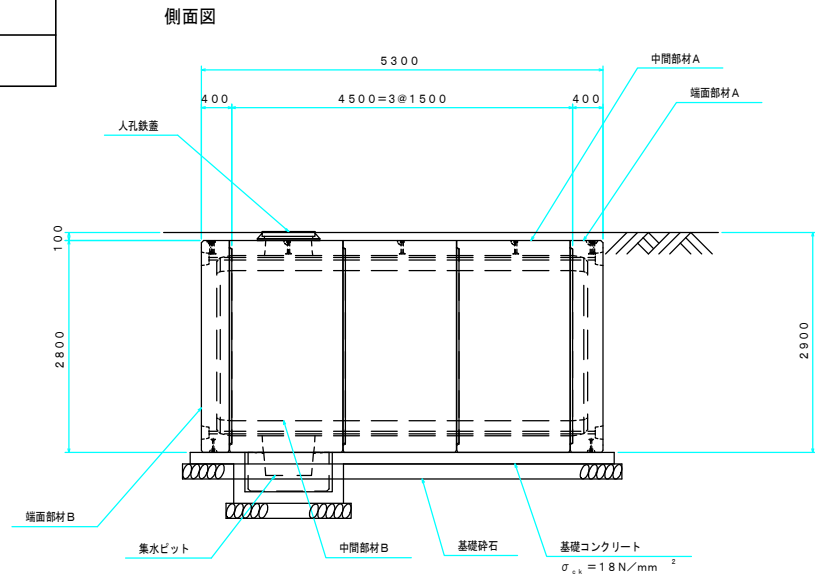
付帯工数量計算書(4)



種 別	計 算 式	単 位	数 量
【舗装版切断】			
	$L = 7.00 + 4.00$	m	11.00
【舗装版破碎】			
機械	$A = 7.00 \times 4.00 / 2$	m ²	14.00
【運搬】			
As殻	$V = 14.00 \times 0.05$	m ³	0.70
【処分】			
As殻	$V = 14.00 \times 0.05 \times 2.35$	t	1.60
【表層】			
t=5cm	$A = 7.00 \times 4.00 / 2$	m ²	14.00
【フェンス撤去】			
H=1.0m	$L = 8.00 + 4.30$	m	12.30
【フェンス復旧】			
H=1.0m	$L = 8.00 + 4.30$	m	12.30
【縁石撤去】			
□100 L=600	$L = 8.00 + 4.30$	m	12.30
【縁石復旧】			
□100 L=600	$L = 8.00 + 4.30$	m	12.30

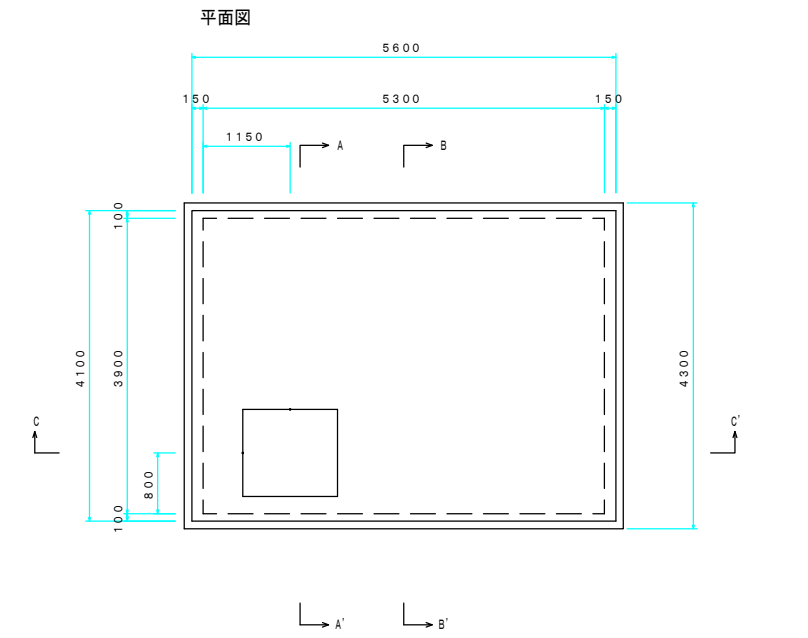
図面番号	参考図	縮尺	図示
工種			
種別	組立図・基礎図	番号	
工事名	耐震性貯水槽新設工事(本郷町船木)		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

組立図 1:100

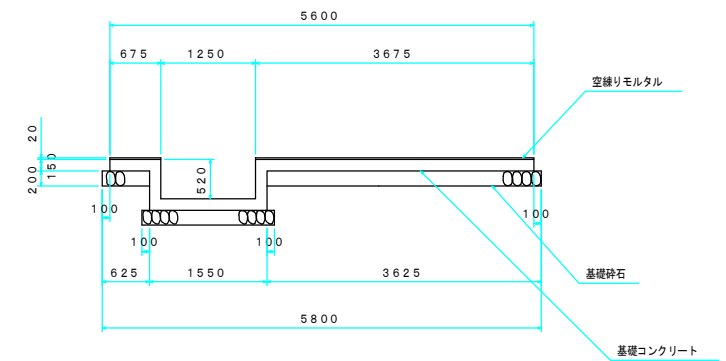


容量	40m ³		
設置場所	空地用		
土盛り厚	0.1m		
形状	角型		
材料	算式	数量	備考
中間部材A	3.90m×2.80m×1.50m	2基	
中間部材B	3.90m×2.80m×1.50m	1基	
端面部材A	3.90m×2.80m×0.40m	1基	
端面部材B	3.90m×2.80m×0.40m	1基	
集水ピット	1.07m×1.07m×0.505m	1基	
人孔鉄蓋	φ600	1組	
PC鋼より線	φ15.2mm L=5.9m	4本	SWPR7B
アンカープレート	125×125×16	8枚	
グリップ	φ15.2mm用	8組	
保護モルタル	0.00257×8	0.021m ³	配合 1:2:5
グラウト	$\frac{\pi}{4} \times 0.035^2 \times 5.3 \times 4$	0.020m ³	
ボルト	M16 L=1.0m (ナット・座金付)	3組	亜和メッキ SS400
六角ボルト	M20 L=220mm (座金付)	4組	SUS304

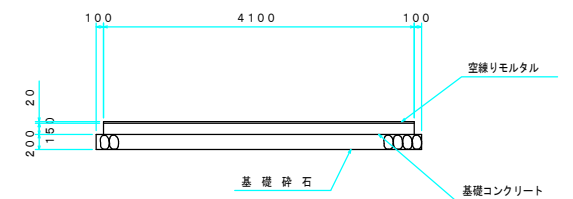
基礎図 1:100



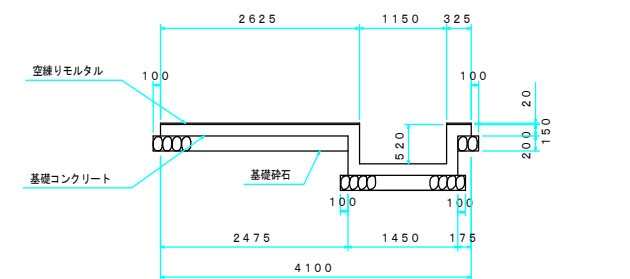
C-C' 断面図



B-B' 断面図

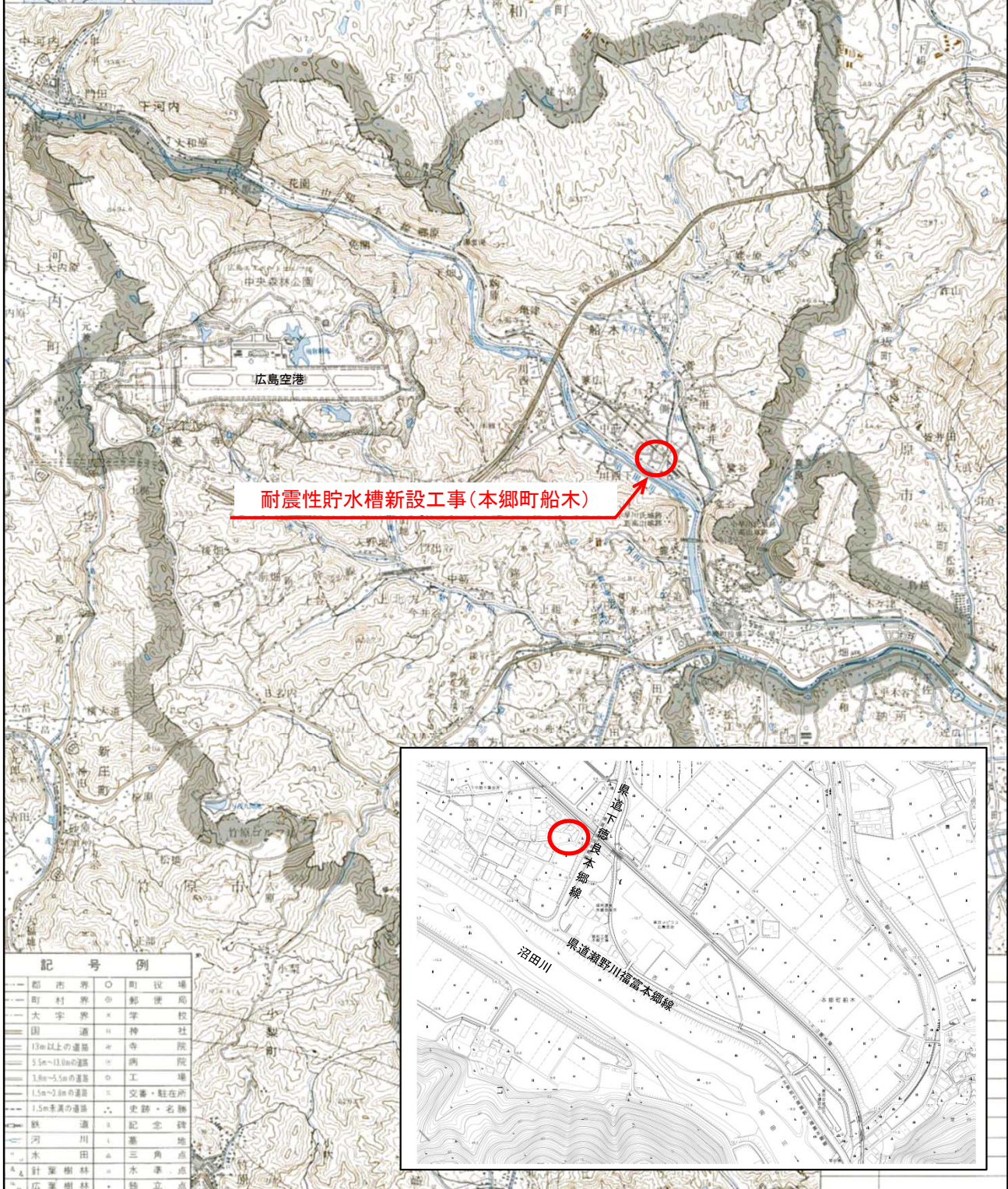


A-A' 断面図

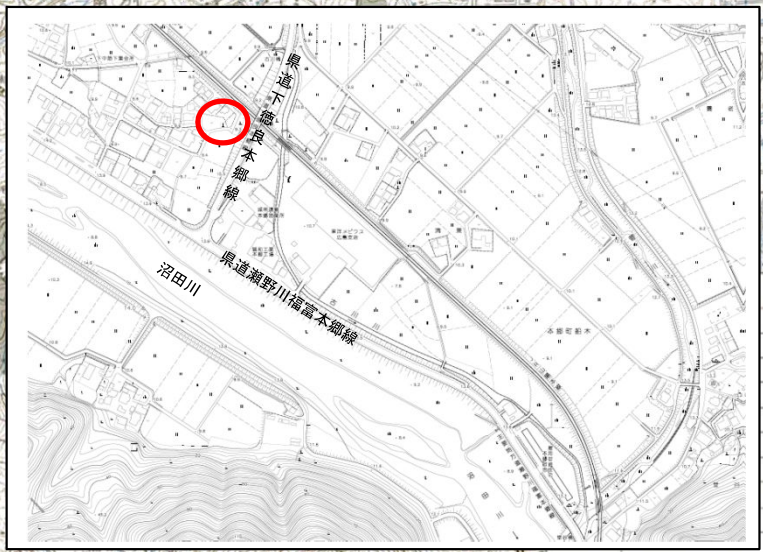




位置図



耐震性貯水槽新設工事(本郷町船木)



記号例	
— 〇 —	都市界 町役場
— 〇 —	町村界 郵便局
— 〇 —	大字界 学校
— 〇 —	国 道 神社
— 〇 —	13m以上の道幅 寺
— 〇 —	5.5m~11.0mの道幅 病院
— 〇 —	3.0m~5.5mの道幅 工場
— 〇 —	1.5m~3.0mの道幅 交番・駐在所
— 〇 —	1.5m未満の道幅 史跡・名勝
— 〇 —	鉄 道 記念碑
— 〇 —	河 川 墓地
— 〇 —	水 田 三角点
— 〇 —	針葉樹林 水準点
— 〇 —	広葉樹林 独立点